

奈良県医師会  
Nara Medical Association



# 奈良県の院内保育・病児病後児保育について

---

令和元年10月12日

2019年度日本医師会女性医師支援センター事業  
近畿ブロック会議

## 研修指定病院における状況

---

研修指定病院数	10		
	あり	なし	%(あり)
院内保育	9	1	90.0%
病児保育	3	7	30.0%
病後児保育	1	9	10.0%

No	施設名	種別 (研修病院orその他施設)	院内保育				病児保育					病後児保育	
			院内保育 (有or無)	定員	入園待ち (有or無)	医師の利用 (可or不可)	病児保育 (有or無)	予約 (必要or不要)	定員	年間利用 人数	医師の利用 (可or不可)	病後児保育 (有or無)	医師の利用 (可or不可)
1	奈良県総合医療センター	研修指定病院	有	60	無	可	有※	不要	5		可	有※	有
2	市立奈良病院	研修指定病院	有	15	無	可	有	必要	5	348	可	無	
3	奈良県西和医療センター	研修指定病院	有	12	無	可	無					無	
4	天理よろづ相談所病院	研修指定病院	有	49	無	可	無					無	
5	近畿大学奈良病院	研修指定病院	有	18	有	可	無					無	
6	奈良県立医科大学附属病院	研修指定病院	有	150	有	可	無※					無※	
7	済生会中和病院	研修指定病院	有	25	無	可	有	必要	3	232	可	無	
8	大和高田市立病院	研修指定病院	無				無					無	
9	土庫病院	研修指定病院	有	20	無	可	無					無	
10	南奈良総合医療センター	研修指定病院	有	25	無	可	無					無	

※奈良県総合医療センターの病児保育・病後児保育は、職員が整え次第、稼働可能

※奈良県立医科大学附属病院の病児保育・病後児保育は、連携医療機関で実施

## 院内保育・病児病後児保育を設置していない理由

---

- ・保育士の数、設置場所の確保が困難
- ・経費がかかり、財政的に設置困難
- ・同じ法人内で病児保育園を運営している

## 院内保育・病児病後児保育における好事例・取り組み

---

### ○済生会中和病院の取り組み

#### ・院内保育

延長保育を実施(18:00～20:00)

毎週水曜日は24時間保育を実施

#### ・病児保育

休み明けの月曜日などは、当日予約で対応(原則は事前予約)

### ○奈良県立医科大学の取り組み

## 院内保育・病児病後児保育における課題

---

### ○院内保育

- ・定員対して少ない利用 → 周辺の地域の保育所の利用が多い
- ・急病になった際、すぐに迎えに来て頂けないため、部屋を隔離して対応しているが、利用者が増えた際には対応しきれない

### ○病児病後児保育

- ・予約のキャンセルが多い → 実際利用したい人とのマッチングができていない
- ・採算が厳しい
- ・病児病後児保育の設置場所、院内規則、保育士などの確保はできているが、病児急変時のための対応として、看護師が必要であるが、看護師の採用に至っていない

## 奈良県医師会勤務医アンケート調査

---

### ○目的

病院や診療所に勤務されている先生方を対象にアンケート調査を行い、先生方の勤務環境を把握し、今後の医師会の事業・施策に反映させる

### ○実施期間

平成31年2月1日～平成31年2月20日まで


### ○回収率

B会員994名に調査票を送付し、364件の回答(回収率 36.6%)を得た

# 奈良県医師会勤務医アンケート調査

---

## ○主な調査項目

- ①性別・年齢・勤務先などの基本情報について
  - ②現在の労働環境について
  - ③女性医師の労働環境について
  - ④医師会に対するご意見等について
- 

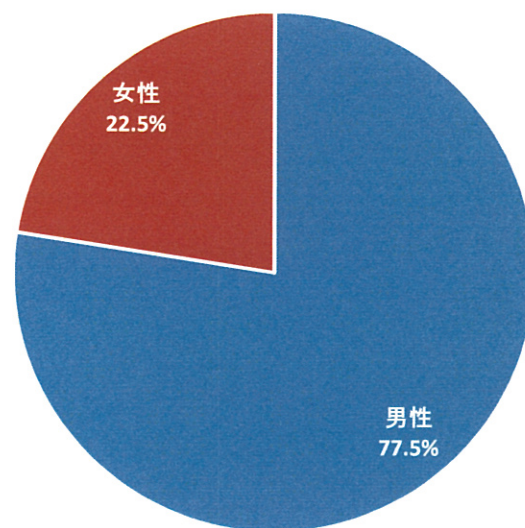


# 奈良県医師会勤務医アンケート調査結果

---

## ○女性医師の回答割合

回答者の性別

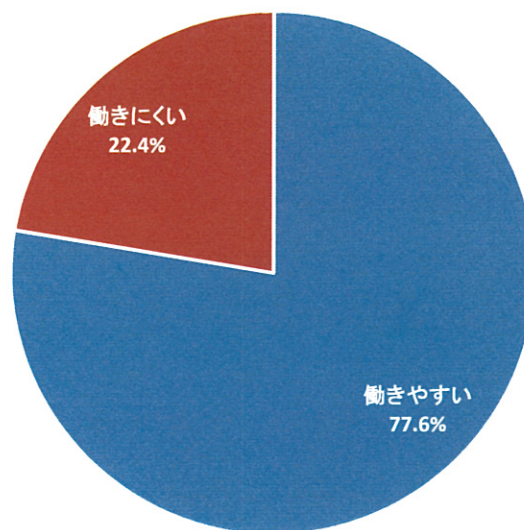


# 奈良県医師会勤務医アンケート調査結果

---

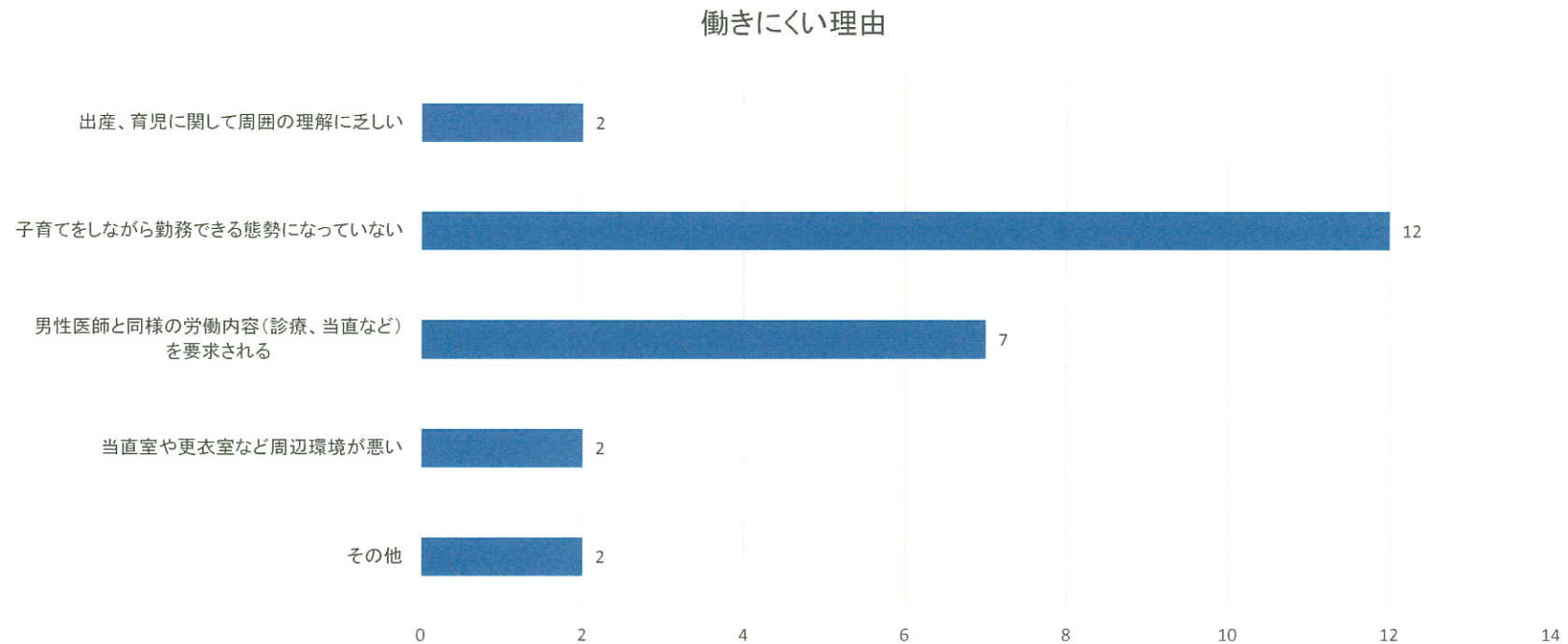
○現在の医療機関における女性医師の労働環境について

女性医師の労働環境



# 奈良県医師会勤務医アンケート調査結果

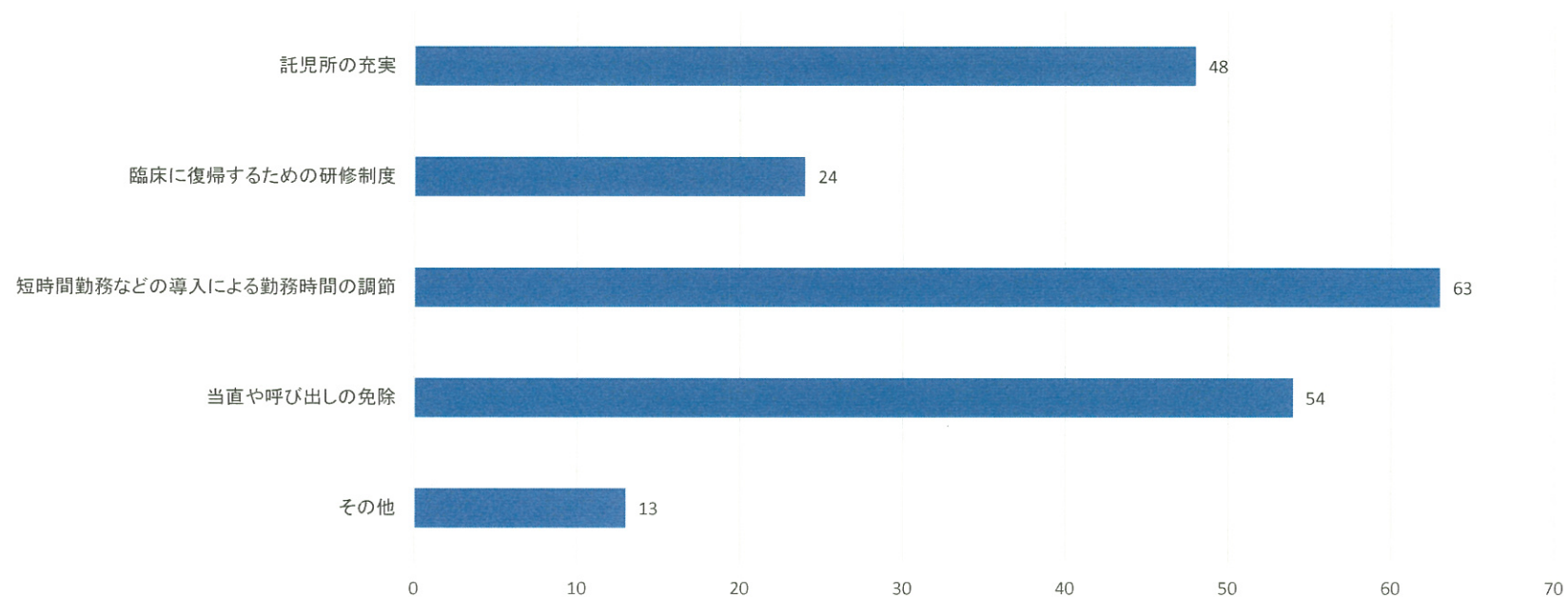
○現在の医療機関における働きにくい理由について(複数回答)



# 奈良県医師会勤務医アンケート調査結果

○出産・育児から医療現場に復帰する際の支援について(複数回答)

医療現場に復帰する際の支援



## 奈良県医師会勤務医アンケート調査結果

---

### ○その他の記載内容

- ・眼科医に全科当直は無理です、全科当直がなければ復帰も考えるのですが・・・
- ・病児保育が必須だと思います、特に子供が未就学時には必要
- ・病児保育などの充実、特に当直勤務時の院内保育
- ・子どもの病気のと看、自分やほかの人が休んでも、困らないようなチーム体制
- ・同じ科に複数医師がいれば、急な休みに対応できる
- ・職場の理解が必要、夫の職場も含めて職場の人員の余裕
- ・子どもの学校行事、本人や家族の病気の付き添いなどの時に有給休暇を取得しやすい職場が理想